

～息子と共に水田農業を続け水の都西条の環境を守りたい～  
加藤 茂、亮次さん親子（西条市）

愛媛県農業指導士、西条市農業委員会会長  
（茂さん）1955年生まれ （亮次さん）1977年生まれ  
フェイスブック【禎瑞 加藤農園】



☆経営概況

息子と共に水田の大規模経営（水稲 15ha・野菜 1.8ha（さといも 60a、たまねぎ 70a、ブロッコリー40a、直売所向け野菜10a））に取り組む傍ら、農業指導士、西条市農業委員会会長として地域に貢献しています。

☆ここがポイント☆

■水田農業を続け、水の都西条を守っていきます！

旧西条市は水田農業が中心の地域ですが、太陽光発電施設用地に次々と転換されるなど、水田がどんどん減っています。しかし、「水の都西条」の地下水を守る役目等、水田農業は環境保全に大きく役立っています。自分はこれからも水田農業を続け、水の都の環境を守っていきます。

■息子が地元企業をやめて就農

今、地域の担い手はどんどん減少し、逆に耕作依頼は年々増え、その対応に困ってありました。しかし、2015年に息子が会社勤めを辞め、就農してくれたので、自分の地域は安心して農地を引き受けられるようになりました。農業委員会会長として、各地域に若い担い手を確保しなければ優良農地は守れないと痛感しています。

■地域の推進品目を導入

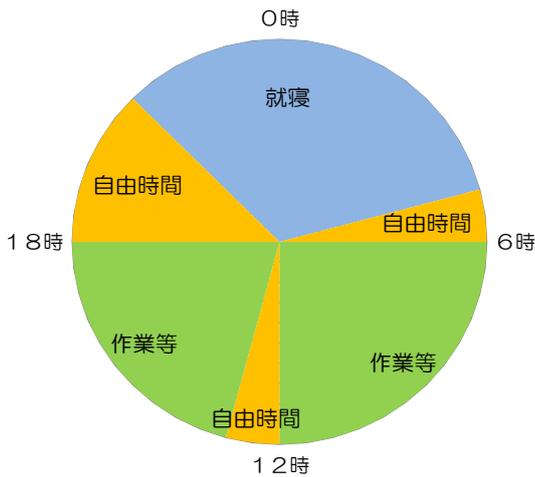
野菜部門では、JA西条の推進品目である「さといも」や「たまねぎ」を中心に栽培し産地化に貢献しています。



たまねぎ収穫作業

さといも収穫作業

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

（茂さん）規模を拡大すると農作業に追われ、農業委員会や他の役職などもあって、管理も遅れがちになりますが、**息子が就農**してくれて、農業と一緒にやるのが楽しく、**心強く**思っています。  
 （亮次さん）父のやってきた事を学びながら、また父とは違う目標を持って農業に取り組んでいます。**施設野菜導入**による多角経営や**農産物ネット販売等**新たなスタイルの農業を目指したいです。愛媛は瀬戸内海と宇和海に釣りの好ポイントが多くあり、休日や農閑期に趣味の釣りも楽しんでいます。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	休日は不定休。繁忙期（夏～秋）は作業時間を延長。					
← 農業の管理作業や農業委員会等の用務 →						
【普通期】	農業の管理作業や農業委員会等の用務					休日



水稻収穫風景



亮次さん家族

☆これからの夢や目指すもの☆

■農地中間管理機構を活用して地域の農地を集約し担い手に再配分したい！  
 基盤整備をしていない地域は、手間がかかり大変です。現在、自分の耕作する 15ha の農地は約 90 筆に分かれています。小さなほ場や離れたほ場も多いので、地域でまとめて中間管理機構に預けて、畔の撤去などの簡易な基盤整備をし、担い手に再配分することにより、**米価低迷に打ち勝つ効率的な水田農業を実現していきたい**です。また、将来的には法人化にも取り組み、農業経営の安定化を図っていきたいです。

☆メッセージ☆

■努力が収入に反映されるのが農業のいいところ！  
 サラリーマンよりは頑張りがダイレクトに反映されるのが農業のいいところです。また**頑張り次第で収入もサラリーマン以上に確保することが可能です**。だから、息子も会社勤めを辞めて一緒に農業を始めました。  
 ■就農するにあたって！  
 現在、就農を検討している方は、事前にしっかりと計画を立てて就農して下さい。